

## 9. その他

### 1) 成医会

(1) 第134回成医会総会は、平成29年10月12日(木)、13日(金)の2日間にわたって開催された。

#### ① 特別講演

岡部 正隆 教授(解剖学講座(組織・発生))

「転写制御因子GCMの機能解析と脊椎動物の進化に関する考察」

水之江義充 教授(細菌学講座)

「細菌の形成するバイオフィルム」

#### ② 宿題報告

谷口 郁夫 教授(循環器内科)

「レニンと高血圧」

服部 麻木 准教授(高次元医用画像工学研究所)

「本学における術中ナビゲーションシステムの開発」

大槻 穰治 准教授(総合診療内科)

「本邦におけるDNARの問題点」

高橋現一郎 准教授(眼科学講座)

「緑内障早期発見の試み」

#### ③ シンポジウム

「遺伝医療とがんのオーダーメイド医療の現状と未来

～本学の遺伝診療センター設立に向けて～

司会 花岡 一成(総合診療内科)

松浦 知和(臨床検査医学講座)

1. 本院アンケートからわかった本学の遺伝診療の現状とニーズ

佐村 修(産婦人科学講座)

2. 先駆け申請から考えるがんクリニカルシーケンス検査の実装

河野 隆志(国立がん研究センター研究所ゲノム生物学研究分野 分野長)

追加発言：がんの遺伝子診断と治療

和久井 大(呼吸器内科)

3. 遺伝性疾患診療の現状と未来 ～本学の最前線と今後の展開～

小林 博司(総合医科学研究センター遺伝子治療研究部)

4. 新・遺伝診療センターの果たす役割：国内外の趨勢、遺伝カウンセリング、各科連携、教育など

川目 裕(東北大学東北メディカル・メガバンク機構)

遺伝子診療支援・遺伝カウンセリング分野 教授)

5. 総合討論

#### ④ パネルディスカッション

「慈恵医大が求める医師・学生像」

司会 川村 哲也(臨床研修センター長)

小島 博己(附属病院副院長)

1. 国が目指す卒前・卒後教育のシームレスな連携

佐々木昌弘(厚生労働省健康局がん・疾病対策課 課長)

2. 本学の卒前教育カリキュラムが目指すもの

中村真理子(教育センター)

3. プロフェッショナルリズム育成のための卒前・卒後教育

岡崎 史子(教育センター)

4. 臨床研修を終えた本学卒業生からの意見

- ① 附属病院での研修から 長尾 陸 (内科 レジデント1年目)
- ② メンター制度の導入 大村 和弘 (耳鼻咽喉科学講座)

5. プロフェッショナルリズム育成に関わる今後の課題

- ① 現在の問題点と今後の課題 小島 博己 (附属病院副院長)
- ② メンター制度の導入 大村 和弘 (耳鼻咽喉科学講座)

6. 総合討論

- (2) 第1263回成医会例会は、平成30年2月16日(金)に行われ「iPS細胞研究の現状と医療応用に向けた取り組み」が講演のテーマとして選ばれた。司会は柳澤裕之教授(成医会運営委員長)が務め、京都大学 iPS細胞研究所 所長/教授である山中伸弥先生が講演を行った。
- (3) 第135回成医会総会については、平成30年10月11日(木)、12日(金)の2日間にわたって開催の予定。

2) 各種行事

- (1) 平成29年4月6日(木)、平成29年度医学科および看護学科入学式を挙行了した。
- (2) 平成29年7月1日(土)、中央講堂お別れ会を挙行了した。
- (3) 平成29年7月24日(月)～26日(水)、宮崎県穆佐小学校学童2名、教諭2名の本学招待旅行が行われた。本行事は、昭和50年より開始され、今回で43回目となる。
- (4) 平成29年10月7日(土)、同窓会支部長会議・学術連絡会議が開催された。
- (5) 平成29年10月14日(土)、学祖高木兼寛先生の墓参を行った。
- (6) 平成29年10月21日(土)、卒業50周年を迎えた卒業生(昭42年)をお招きし、懇談の集いを開催した。
- (7) 平成29年10月28日(土)、第113回解剖諸霊位供養法会を増上寺において執り行った。
- (8) 平成30年1月5日(金)、新年挨拶交歓会をテレビ会議システムを使用し、全機関にて開催した。
- (9) 平成30年1月31日(水)、平成30年3月末日をもって定年を迎えた中川秀己教授、森川利昭教授、橋本和弘教授、水之江義充教授、谷口郁夫教授、伊藤洋教授、岸本幸一教授、大西明弘教授、薄井紀子教授、東條克能教授の退任記念パーティーが行われた。
- (10) 平成30年2月20日(火)、感謝状伝達式を行い、献体者遺族に対して文部科学大臣からの感謝状を手渡した。
- (11) 平成30年3月3日(土)、第93回医学科、第23回看護学科卒業式を挙行了した。

3) 印刷物等の発行

- (1) 法人誌「The JIKEI」

慈恵大学の“今”を伝えることをコンセプトに昨年全面カラー版誌面構成にリニューアルし、2年目を迎えた。今年度も2回発行し、同窓、医学部父兄、記念事業募金寄付者、医療連携機関、教職員などに送付し、本学の活動をPRした。

- 1) 第29号 特集「さようなら中央講堂」

関東大震災からの復興の象徴である大学本館は昭和7年に建設され、西新橋キャンパス再整備計画の進行に伴い平成29年9月、85年の歴史に終止符を打った。多くの慈恵人にとって、入学式、卒業式、就任式など様々な行事を経験した思い出深い中央講堂を特集記事に取り上げ、平成29年7月に発刊した。

- 2) 第30号 特集「西新橋キャンパス再整備プロジェクト」「Nature Communicationsにアクセプトされた研究成果紹介ネフロン前駆細胞から腎臓再生に成功～臨床応用に向けた最終段階へ～」

平成29年6月末に竣工した2号館の概要を中心に再整備プロジェクトの全体像を紹介した。一方、日々の研究活動の成果紹介として、腎臓再生への取り組みを特集記事に取り上げ、平成30年2月に発刊した。

(2) 慈恵ニュース

- 1) 平成29年1月リニューアルされた創刊200号に対して内外から寄せられた評価結果を基に再検証を行った。職員向け学内広報誌「慈恵ニュース」の役割や編集方針を明確化し、企画内容について一部見直しを図った。第201号は「新年を迎えた理事長・学長・各病院院長メッセージ」「これからの人材育成を考える。もっと互いに育て合う風土をつくろう」の2つを特集記事とし、平成30年1月に発刊した。
- 2) 平成29年6月に「春季労使協議会結果」、平成29年7月に「学校法人慈恵大学 中期目標・中期計画・平成29年度事業計画」を号外として教職員に配布した。

(3) 大学ガイドブック

平成29年5月に受験生向けの学校案内「大学ガイドブック2018」を発行した。本学の医学教育の特色である「診療参加型臨床実習」や「国際交流」の紹介や新カリキュラム概要やサークル活動をはじめとするキャンパスライフについて幅広く掲載した。

(4) 大学入試ポスター

平成29年5月にオープンキャンパス並びに入試日程に関わる「大学入試ポスター」を医学科、看護学科別に発行し、高等学校、予備校、同窓会長、支部長、学術連絡委員などに送付した。

(5) 大学公報

学事、教職員人事、公示、行事、東京慈恵会公報などを取りまとめ、毎月定期的に発行した。

(6) 大学案内

平成29年4月に大学案内の別冊を発行した。

(7) 大学公式ホームページ

- 1) 平成29年5月、本学の産官学連携の取り組みを掲載した。
- 2) 平成29年7月、乳腺・甲状腺センターページを新設した。
- 3) 平成29年7月、総合母子健康医療センターを更新した。
- 4) 平成29年9月、看護学科フェアブル祭、ミニオープンキャンパスを掲載した。
- 5) 平成29年9月、公開講座をリニューアルした。
- 6) 平成29年9月、平成28年度病院指標を掲載した。
- 7) 平成29年10月、臨床工学部ページを新設した。
- 8) 平成29年12月、私立大学研究ブランディング事業ページを新設した。
- 9) 平成29年12月、ホームページへの論文、プレスリリース掲載基準を定めた。
- 10) 平成30年1月、大学Topページ表示方法を「TOPICS&INFORMATION」に変更し、一定の掲載期間を経過したものはArchiveへ移動する運用に変更した。

大学公式ホームページへの総閲覧数は対前年比－3万回の1,554万件と減少したが、総訪問者数は前年度比2万人増の256万人に増加した。ホームページ新規作成及び更新依頼は525件であった。依頼部署や関連委員会と連携して掲載内容の充実を図るとともに、本学の特色ある取り組みをステークホルダーである患者、医療機関、学生、受験生などに対し、最新情報を遅滞なく掲載するよう努めた。

長年の懸案事項であった附属病院ホームページのリニューアルに向け平成29年7月ホームページリニューアル検討ワーキンググループを設置した。株式会社電通の支援を受けながら10月要求定義書作成、11月オリエンテーション、12月候補3社によるコンペティション、1月理事プレゼンテーション、2月業務委託会社の選定、3月よりWebサイトの本格作業を開始し、平成30年10月末までに制作を完了する予定である。

(8) イントラネット

「理事長・学長室」、「行事予定」、「大学公示」、「理事会・教授会議抄録」、「事業計画・事業報告書」、「教職員アンケート」、「学内使用の各種書式」等の更新業務を担当した。

今年度は、「理事長・学長室」からの情報発信を積極的に掲載し、教職員に周知した。また、トップページのアイコンの配列を見直し、重要かつ周知が必要なものを上位に掲載すると共に、what's newへの掲載と更新頻度を高め、最新情報を入手しやすくするよう努めた。

広報課のページを整理し、ホームページメンテナンスやオールユーザーメールの送信依頼時に必要な事項やホームページアクセス数を掲載した。西新橋キャンパス再整備計画の周知を目的に専用ページを設置した。

(9) オールユーザーメール

セミナー、シンポジウム、講演会、研修会等の開催通知のほか、教職員のテレビ、ラジオ、講演会等への出演や新聞、雑誌等への掲載情報を中心に647件配信した。